

令和 4 年 6 月 15 日現在

機関番号：13201

研究種目：基盤研究(B)（一般）

研究期間：2018～2020

課題番号：18H00883

研究課題名（和文）地方企業の国際ビジネスのパラダイムシフトに関する多角的研究

研究課題名（英文）Multidirectional study of the local company on paradigm shift of the international business

研究代表者

岸本 壽生（TOSHIO, KISHIMOTO）

富山大学・学術研究部社会科学系・教授

研究者番号：80262492

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 11,820,000円

研究成果の概要（和文）：本研究の目的は、地方企業が積極的に国際ビジネスを展開するようになったパラダイムシフトを解明するために、地方企業の持続性に着目し、ダイナミックな理論化を試みた。地方企業の国際化のキーコンセプトの一つとして、社会情緒的資産（SEW）の重要性を発見した。そして、ケーススタディと広島地域の400社の経営状況と海外進出の関係性の実証分析を行った。

本研究の成果としては、試論として「地方の中小企業・同族企業の国際ビジネスの変移・パラダイムシフトのパターン化」を提示した。さらに、国内で研究がほとんど行われていない地方企業の海外進出について動的な実証研究を行った。

研究成果の学術的意義や社会的意義

これまで、企業の海外進出の多くの研究が大企業を対象に行われてきた。それに対し、本研究は、地方企業、中小企業および同族企業を対象にしている。これらの企業は、大きな資産や競争力を有していないが、事例研究を重ねるとそのストーリー性が見えてくる。そして、その動向を輸出型、国内回帰型、国内シフト・撤退型、国内重視型、国内外バランス型、グローバル展開型としてパターン化を試みた。

また、地方企業には同族経営が多く、その海外進出は従来の理論では説明しきれない。そこで、同族支配、名声、評判、愛着、社会との繋がりといった社会情緒的資産が重要な要素であることを明らかにした。

研究成果の概要（英文）：A purpose of this study is to find out the paradigm shift that a regional firm came to present an international business positively. Therefore, we attempted dynamic theorization focused on the sustainability of a regional firm. As one of the key concepts of an internationalization of a regional firm, we recognized the significance of socioemotional wealth (SEW). As a result of this study, we showed "patternizing of the paradigm shift of the international business of a regional small and medium-sized firms". Furthermore, we performed the dynamic-empirical study on overseas expansion of a regional firm.

研究分野：国際ビジネス

キーワード：地方企業 国際ビジネス 海外進出 社会情緒的資産 同族経緯

様式 C-19、F-19-1、Z-19（共通）

1. 研究開始当初の背景

地方企業の一部は、昨今伝統的、保守的な経営を見直し、アジアをはじめ積極的に国際ビジネス展開をするようになってきた。さらに最近では、地方において労働力確保が困難なことから、地方の中小製造業は生産拠点の海外移転をしたり、海外の人材を国内製造現場で利用したりするようになってきている。また、サービス業は、以下の点で国際化に対応している。

一つは、地方経済の縮小に対応して積極的に海外進出を図っている企業、もう一つは、インバウンドに対応する企業である。本研究は、①地方企業が積極的に国際ビジネスを展開するようになったパラダイムシフトを解明する。そして②地方企業が国際ビジネスをするにつれ、組織能力を向上させ、人材開発を行い、国内外の事業全体を持続・発展させていくプロセスを調査する。③地方のサービス産業による海外顧客に対応するマーケティングやマネジメントシステムを研究する。最後に、④地方企業の持続性に着目し、ダイナミックな理論化を追求するものである。

2. 研究の目的

本研究課題では、十分に理論研究がなされていない地方企業の国際展開と外部環境への対応について追求するために、様々なアプローチから理論研究及び実証研究を行う。以下の4つの点は独創的であり、ユニークな結果が予想される。

(1)対象地域のユニーク性：今回研究対象としている北陸、北関東、山陽の地方小企業には世界的シェアをもっている企業がある。また、極めてニッチな市場を守り続けている中小企業もある。それらを比較研究することで地方企業のモデリングができる。

(2)外部ファクターとの関係性：画一的な中小企業研究とは異なり、中国をはじめとする進出国経済の変動、新たなFTAの成立などが地方企業へ及ぼす影響を捉えている。

(3)既存理論の補完性：これまでの戦略論、多国籍企業理論などは大企業中心で、静態な研究と言われる。地方企業の動態的研究を通じて、それらの理論が補完できる。

(4)「日本の地方企業の国際ビジネスの持続的発展モデル」の提示：外部環境の変化、地域コミュニティ、及び経営理論という3次元的なアプローチの研究を行う。それらを研究することから導かれる「日本の地方企業の国際ビジネスの持続的発展モデル」の研究は、ほとんど行われておらず独創性を有するものといえる。

本研究の成果が、今後の地方企業の戦略や地方自治体の政策に対して示唆を与える動態的な研究を目的とする。

3. 研究の方法

研究方法は以下の3つの方法から行う。

(1)研究対象地域の企業による外部環境変化の認識と対応策に関するリサーチ

地方企業のグローバル・サプライチェーン(SCM)におけるポジションを捉え、海外展開の要因を、マーケティングや技術、サービス、人材の面から把握する。

(2)地方企業の先行研究のサーベイ

地方企業の国際事業展開を分析するための基礎理論としては多角的なアプローチが必要であり、本研究では、以下の6つの面から理論研究を行う。①国際ビジネス理論、②ソーシャル・キャピタル論、③地域企業論、④技術優位論、⑤国際マーケティングやSCM論、及び⑥人材開発・組織論である。まず、先行研究のサーベイと理論的な問題点の抽出を行い、現状に対応した理論のハイブリッド化を追求する。

(3)実態調査—インタビュー調査および実証研究

現状把握のためインタビュー調査の積み上げを行う。それには、以下の4つのアングルから行う。①当該地域の地方・中小企業への調査により、現在の問題と国際事業への取り組みの程度を把握する。次に、②すでに外国に進出している地方企業の現地調査である。また、③当該地域および外国進出地域への行政機関等への調査を行う。

さらに、④広島地域の企業400社を対象に2005年から15年間の経営状況と海外進出の関係性の実証分析を行う。

4. 研究成果

本研究は、①地方企業が積極的に国際ビジネスを展開するようになったパラダイムシフトを解明すること、②地方企業が国際ビジネスをするにつれ、組織能力を向上させ、国内外の事業全体を持続・発展させていくプロセスを調査すること、③地方のサービス産業による海外顧客に対応するマーケティングやマネジメントシステムを研究すること、そして④地方企業の持続性に着目し、ダイナミックな理論化を試みることである。

京浜・山陽・北部九州・北陸企業14社、東南アジアの日系及び現地企業等19社と3機関、ロシア・中央アジア4社である。例えば、地方の食品会社がマレーシアやタイに進出し、これまでの現地と本国への供給に加え、現地でイスラム教のハラール認証を得ることで、グローバル志向をもつようになった企業に、2019年度は現地法人、2020年度は本社の担当者にヒアリング調査を行った。その他同様の調査を2社行った。このような訪問調査を通して地方企業の海外進出の

動向について帰納的な研究を行った。

これらの調査を踏まえて、学会・研究会報告と論文・コラム、書籍の中で発表し、さらに市民向けの講座等で発表を行った。例えば、岸本寿生、大東和武司、清水さゆり、ヌルハイザルアザムアリフは、第27回国際ビジネス研究学会全国大会において、フォーラム「ローカル・中小企業の国際ビジネスのパラダイムシフト」を企画した。大東和武司は、地域企業にかかわる研究会を上智大学と関東学院大学で開催、さらに九州大学・九州産業大学でワークショップ「国際ビジネス研究における『地域』企業をめぐる」を開催した。そして、共著『国際ビジネスの現実と地平』（文真堂）の中で、地域企業の発展について3ステップの進化プロセスを提唱した。また、ヌルハイザルアザムアリフは、市民講座でフード・ダイバシティ概念を通して、中小飲食店等の国際化の取り組みを紹介した。

また、これまでの調査企業を対象に地方の同族企業による海外進出の意思決定と社会情緒的資産（SEW）の影響についてケーススタディを行った。国内の研究ではあまり取りあげられていないSEWの概念の明確化と同族企業の海外進出について追究した。その結果は、2021年5月国際ビジネス研究学会中四国部会で「中堅・中小企業の海外進出 ー日系同族企業の事例ー」、さらに、8月同学会関西部会・関東部会合同部会で「地域同族企業の国際化-その制約と克服にかかわるひとつの検討-」で発表した。

さらに、これらのケーススタディをベースに、広島地域の企業400社を対象に2005年から15年間の経営状況と海外進出の関係性の実証分析を行った。これは、「同族企業」、「地域企業」、「上場・未上場企業」の海外直接投資に関する実証研究の試みであり、対外直接投資における日本の同族企業の特異性およびSEWの要因について実証研究を行った。その結果は、11月国際ビジネス研究学会第28回全国大会において、「同族企業の異質性と海外進出の関係」として発表した。本研究の成果としては、試論として「ローカル・中小企業の国際ビジネスの変移・パラダイムシフトのパターン化」を提示した。さらに、国内で研究がほとんど行われていない地方企業の海外進出について動態的な実証研究を行った。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計15件（うち査読付論文 6件 / うち国際共著 1件 / うちオープンアクセス 2件）

1. 著者名 竹之内秀行、高橋意智郎	4. 巻 43
2. 論文標題 中国市場への進出における相互依存的立地選択行動と環境の不確実性：事業経験と参入モードの影響	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 日本経営学会誌	6. 最初と最後の頁 40-52
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -
1. 著者名 高木修一	4. 巻 65
2. 論文標題 地方企業の国際経営戦略：北陸企業を対象とした予備的考察	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 富大経済論集	6. 最初と最後の頁 473 - 487
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 李瑞雪・王亦菲	4. 巻 20
2. 論文標題 何が寒村をEC集積地に変貌させたのか～中国最大の“淘宝村”義烏の事例～《前編》	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 月刊 ロジスティクス・ビジネス	6. 最初と最後の頁 54-61
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 李瑞雪・金艶華	4. 巻 19
2. 論文標題 韓国・仁川のマルチノード化が進展、越境EC向け新型物流施設が台頭	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 月刊 ロジスティクス・ビジネス	6. 最初と最後の頁 52-57
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Li, Ruixue	4. 巻 223
2. 論文標題 The Mechanism of Formation of Logistics Clusters.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 法政大学イノベーション・マネジメント研究センター、ワーキングペーパー	6. 最初と最後の頁 1-30
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Wang Kun, Yang Yiming, Li Ruixue	4. 巻 -
2. 論文標題 Travel time models for the rack-moving mobile robot system	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 International Journal of Production Research	6. 最初と最後の頁 1~19
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/00207543.2019.1652778	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 大東和武司	4. 巻 26
2. 論文標題 フリースタANDING・カンパニー：その経済空間と国家空間とのかかわりへの試み	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 戦略研究	6. 最初と最後の頁 15-47
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山本崇雄	4. 巻 54
2. 論文標題 日本における教育関連企業の事業展開の動向 小中学校生向け補助学習領域に焦点をあてて	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 商経論叢	6. 最初と最後の頁 157-165
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 今井雅和	4. 巻 108
2. 論文標題 企業ドメインと事業領域に関する考察	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 専修経営学論集	6. 最初と最後の頁 1-40
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 内田康郎	4. 巻 62
2. 論文標題 IoTの進展にみる技術の業際化 国際ビジネスの業際化とそのメカニズムについて	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 世界経済評論	6. 最初と最後の頁 84-92
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 李瑞雪	4. 巻 11
2. 論文標題 大陸横断貨物鉄道「中欧班列」のインパクト	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 月刊ロジスティクス・ビジネス	6. 最初と最後の頁 56-63
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 鳥羽達郎	4. 巻 142
2. 論文標題 多国籍企業の商品調達と社会的責任:株式会社ファーストリテイリングの事例研究	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Warm Topic	6. 最初と最後の頁 10-24
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 今井雅和	4. 巻 8
2. 論文標題 グローバルメジャーを目指す日立製作所の人財部門改革とタレントマネジメント	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 専修マネジメントジャーナル	6. 最初と最後の頁 11-25
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 今井雅和	4. 巻 8
2. 論文標題 真のグローバルを目指すブリヂストンの人的資源管理経営史	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 専修マネジメントジャーナル	6. 最初と最後の頁 27-39
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 ヌルハイザルアザムアリフ、岸本寿生	4. 巻 284
2. 論文標題 地域企業の変容過程：戦後の街の片隅から世界の食卓へ：オタフクソースの事例	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 関東学院大学経済経営学会研究論集	6. 最初と最後の頁 57-77
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計22件（うち招待講演 0件 / うち国際学会 2件）

1. 発表者名 馬 駿、陳琪然
2. 発表標題 本企業における外国人人材の働く意識と行動
3. 学会等名 異文化経営学会北陸部会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 大東和武司
2. 発表標題 地域企業の持続可能性と逸脱にかかわる議論の関係性
3. 学会等名 地域企業にかかわる研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 大東和武司
2. 発表標題 地域企業の持続的発展における対話の検討：山口市の企業を事例に
3. 学会等名 地域企業にかかわる研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 大東和武司
2. 発表標題 地域への想いからの起業化について：山口の地域企業の事例
3. 学会等名 地域産業の動向と政策に関する研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 大東和武司
2. 発表標題 国際ビジネス研究における『地域』企業をめぐって
3. 学会等名 地域企業にかかわる研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 竹之内秀行
2. 発表標題 外資系企業の立地戦略
3. 学会等名 国際ビジネス研究学会中四国部会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Jun Ma, Naoki Kakita
2. 発表標題 Study on the Relationship between Industrial Structure and Import in Chinese Steel Industry
3. 学会等名 17th Northeast Asian Academic Network (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 岸本寿生、竹之内秀行
2. 発表標題 サービスの海外移転：加賀屋の台湾進出のケース
3. 学会等名 国際ビジネス研究学会九州部会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 鳥羽達郎
2. 発表標題 多国籍小売企業のリージョナル戦略
3. 学会等名 日本比較経営学会第43回全国大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 鳥羽達郎
2. 発表標題 専門小売企業の国際戦略：ファ・ストリテイリングの事例研究
3. 学会等名 日本流通学会・第32回全国大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 鳥羽達郎
2. 発表標題 ウォルマート・ジャパンのマーケティング戦略：撤退報道から考察するこれまでの展開
3. 学会等名 日本消費経済学会・2018年度西日本大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 今井雅和
2. 発表標題 Japan-Russia Economic Relations and International Business (IB) Research Agenda,
3. 学会等名 GSOM Emerging Markets Conference (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 竹之内秀行、山本崇雄、今井雅和
2. 発表標題 日本のパーソナルファイナンス企業のアジア展開
3. 学会等名 パーソナルファイナンス学会第19回全国大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 竹之内秀行
2. 発表標題 新興国市場への進出と企業グループ
3. 学会等名 国際ビジネス研究学会中四国部会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 内田康郎
2. 発表標題 技術の業際化がもたらす知財の無償化
3. 学会等名 組織学会2019年度年次大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 内田康郎
2. 発表標題 事業の業際化とイノベーションの関係
3. 学会等名 多国籍企業学会西部部会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 大東和武司
2. 発表標題 伝統産業にかかわる地域企業の変容と国際展開
3. 学会等名 国際ビジネス研究学会第25回全国大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 ヌルハイザルアザムアリフ
2. 発表標題 Does Diversity Pay?Lessons from JapaneseHalal Industry
3. 学会等名 国際ビジネス研究学会第25回全国大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 岸本寿生、大東和武司、清水さゆり、ヌルハイザルアザムアリフ
2. 発表標題 (フォーラム)ローカル・中小企業の国際ビジネスのパラダイムシフト
3. 学会等名 国際ビジネス研究学会第 27回全国大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 大東和武司、岸本寿生、竹之内秀行、山本崇雄、竹之内玲子
2. 発表標題 中堅・中小企業の海外進出 - 日系同族企業の事例 -
3. 学会等名 国際ビジネス研究学会中四国部会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 大東和武司、岸本寿生、竹之内秀行、山本崇雄、竹之内玲子
2. 発表標題 地域同族企業の国際化-その制約と克服にかかわるひとつの検討-
3. 学会等名 国際ビジネス研究学会関西部会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 東和武司、岸本寿生、竹之内秀行、山本崇雄、竹之内玲子
2. 発表標題 同族企業の異質性と海外進出の関係
3. 学会等名 国際ビジネス研究学会第 28回全国大会
4. 発表年 2021年

〔図書〕 計6件

1. 著者名 桑名 義晴、岸本 寿生、今井 雅和、竹之内 秀行、山本 崇雄	4. 発行年 2019年
2. 出版社 中央経済社	5. 総ページ数 212
3. 書名 ケーススタディグローバルHRM(人的資源管理)	

1. 著者名 広島市立大学国際学部国際ビジネス研究フォーラム	4. 発行年 2020年
2. 出版社 文真堂	5. 総ページ数 256
3. 書名 国際ビジネスの現実と地平	

1. 著者名 科学技術振興機構中国総合研究・さくらサイエンスセンター	4. 発行年 2019年
2. 出版社 科学技術振興機構中国総合研究・さくらサイエンスセンター	5. 総ページ数 260
3. 書名 一帯一路の現況分析と戦略展望	

1. 著者名 諸上茂登編著	4. 発行年 2019年
2. 出版社 同文館出版(株)	5. 総ページ数 270
3. 書名 国際マーケティング・ケイバビリティ	

1. 著者名 鶴飼 信一編著清水さゆり	4. 発行年 2018年
2. 出版社 中央経済社	5. 総ページ数 216
3. 書名 日本社会に生きる中小企業	

1. 著者名 進藤榮一、李瑞雪、一帯一路日本研究センター	4. 発行年 2018年
2. 出版社 日本評論社	5. 総ページ数 240
3. 書名 一帯一路からユーラシア新世紀の道	

〔産業財産権〕

〔その他〕

<p>日系食品メーカーとハラール食品：グローバル展開への試み 岸本寿生 http://www.world-economic-review.jp/impact/article1339.html 地域企業のひとつの歩み：想い・思い・念(おも)いからの起業 大東和武司 http://www.world-economic-review.jp/impact/article1572.html 地域企業のひとつの歩み：リボリューションとしての起業 大東和武司 http://www.world-economic-review.jp/impact/article1584.html 技術とアートの融合：アルメニアのIT教育に学ぶ 今井雅和 http://www.world-economic-review.jp/impact/article1551.html あなたの会社は誰のためにどのような事業をしていますか？ 今井雅和 http://www.world-economic-review.jp/impact/article1450.html 加賀屋の台湾進出から考える 竹之内秀行 http://www.world-economic-review.jp/impact/article1888 GVC(グローバルバリューチェーン)はどこに向かうのか 今井雅和 http://world-economic-review.jp/impact/article2313 中小企業に惹きつけられる 清水さゆり http://www.world-economic-review.jp/impact/article2388 「地域企業の海外展開」について 竹之内秀行 http://www.world-economic-review.jp/impact/article2555 VUCA時代のグローバルバリューチェーン 岸本寿生 http://www.world-economic-review.jp/impact/article2456 コロナ後の国際分業を考える 岸本寿生 http://www.world-economic-review.jp/impact/article1752</p>
--

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	馬 駿 (MA JUN) (00303206)	富山大学・学術研究部社会科学系・教授 (13201)	
研究分担者	櫻田 貴道 (SAKURADA TAKANORI) (00634867)	富山大学・学術研究部社会科学系・准教授 (13201)	
研究分担者	高木 修一 (TAKAGI SHUICHI) (00803462)	富山大学・学術研究部社会科学系・講師 (13201)	
研究分担者	N U R H A I Z A L A Z A M (NURUHAIZALAZAM ARIF) (10816721)	広島市立大学・国際学部・准教授 (25403)	
研究分担者	李 瑞雪 (LI RUIXUE) (20377237)	法政大学・経営学部・教授 (32675)	
研究分担者	山本 崇雄 (YAMAMOTO TAKAO) (30318761)	神奈川大学・経済学部・教授 (32702)	
研究分担者	大東和 武司 (OHTOWA TAKESHI) (40152194)	関東学院大学・経営学部・教授 (32704)	
研究分担者	鳥羽 達郎 (TOBA TATSURO) (40411467)	富山大学・学術研究部社会科学系・教授 (13201)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	清水 さゆり (SHIMIZU SAYURI) (70445873)	高崎経済大学・経済学部・教授 (22301)	
研究分担者	今井 雅和 (IMAI MASAKAZU) (80305391)	専修大学・経営学部・教授 (32634)	
研究分担者	竹之内 秀行 (TAKENOUCHI HIDEYUKI) (90297177)	上智大学・経済学部・教授 (32621)	
研究分担者	内田 康郎 (UCHIDA YASHURO) (90303205)	兵庫県立大学・経営研究科・教授 (24506)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関